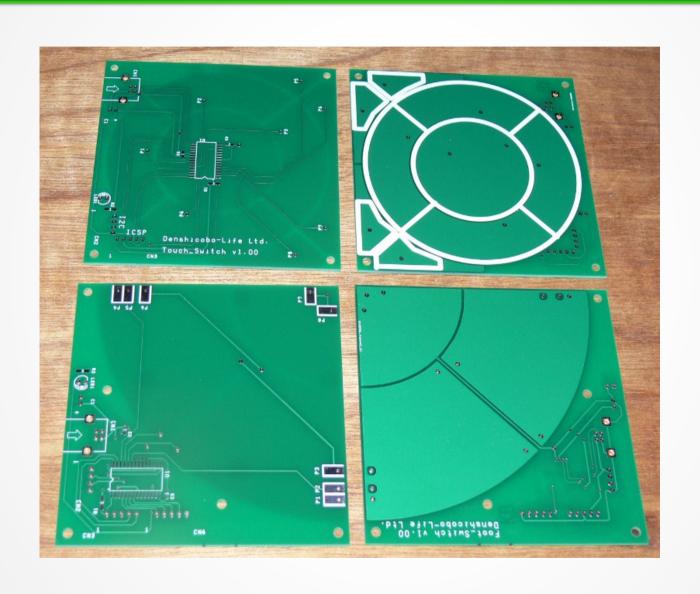
# CTMUマウスの開発



#### 妄想

当初の構想はXYステージの二次元位置情報を操作する I2Cインターフェースのフット・パネルだったが・・・

"小型の操作パネルを複数並べる"

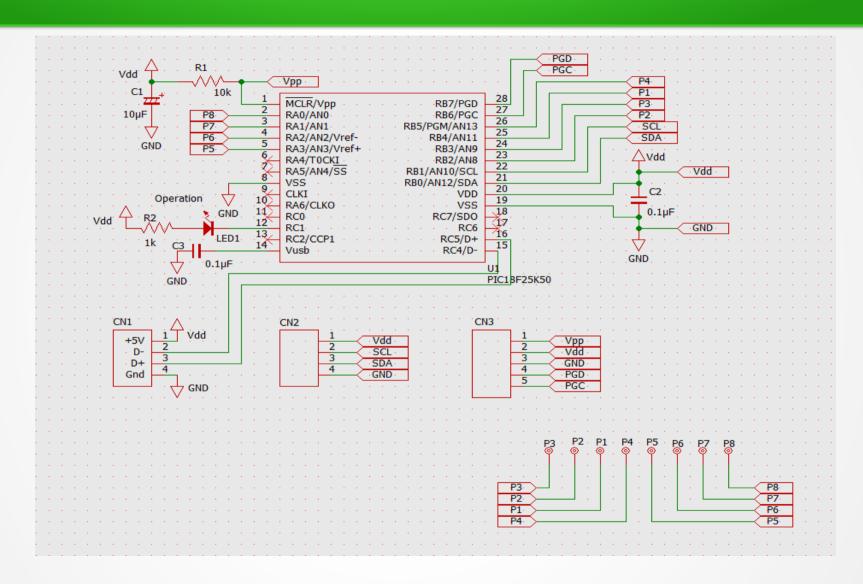
"USBインターフェースを付けてマウスにする"

トレースが螺旋を描くマウスとか

1クリックで星型を描くマウスとか

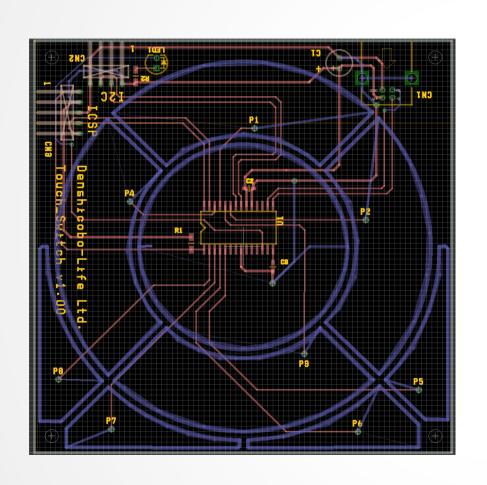
==>妄想が膨らみI2CとUSBを備えたCTMUマウスを 目指すことにした。

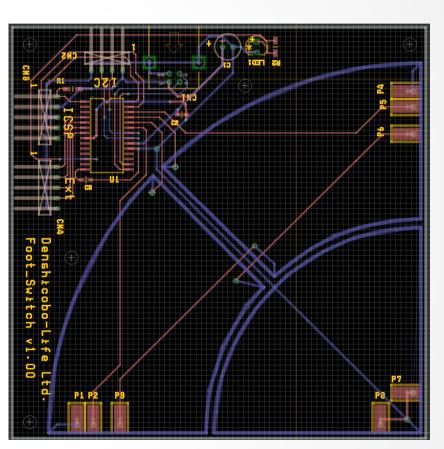
#### 回路



PIC18F25K50を使用

# 基板パターン二種





タッチ・マウス基板

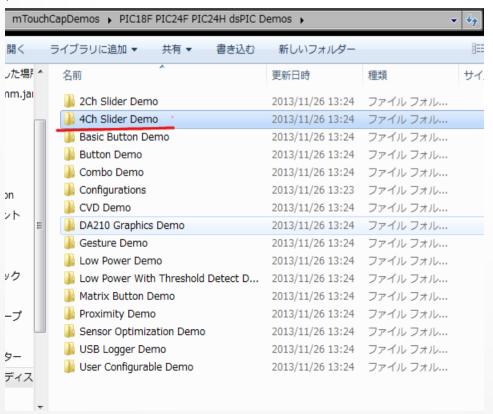
フット・マウス基板

#### 初めて扱うCTMU

CSMで試作実験していたが実機はCTMUにした。

色々資料を漁ったけれどディスチャージする方法が?

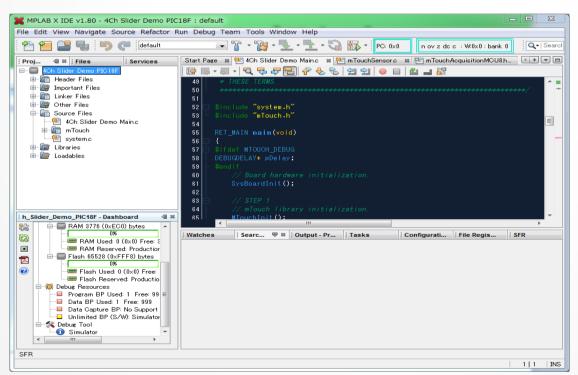
Microchip社が提供しているアプリケーション・ライブラリを 参考にした



#### シミュレータでブラウズ

4CH Slider Demoのプロジェクトファイルをシミュレータで動かしてみた。

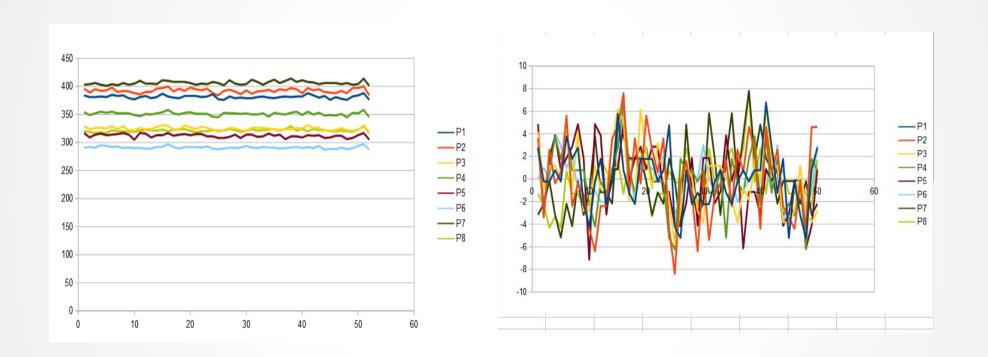
関数構成の確認やソース・ファイルのブラウズはエディタより簡単で便利!==> お勧めです



#### MTouchAcquisitionCTMU

```
INT16 MTouchAcquisitionCTMU(SENSOR* pSensor)
 MTouchCTMURearm()
                                                   MTouchADCStart();
MTouchADCSetChannel(channelNumber);
 *lat &= ~ioMask; *tris &= ~ioMask;
                                                   ei();
                                                   MtouchADCWait();
 MTouchDischargeDelay();
                                                   *tris &= ~ioMask;
 *tris |= ioMask;
                                                   result = 1024 - MTouchADCGetResult();
 di();
                                                   return result;
 MTouchCTMUStart();
 MTouchChargeDelay(chargeDelay);
MTouchCTMUStop();
```

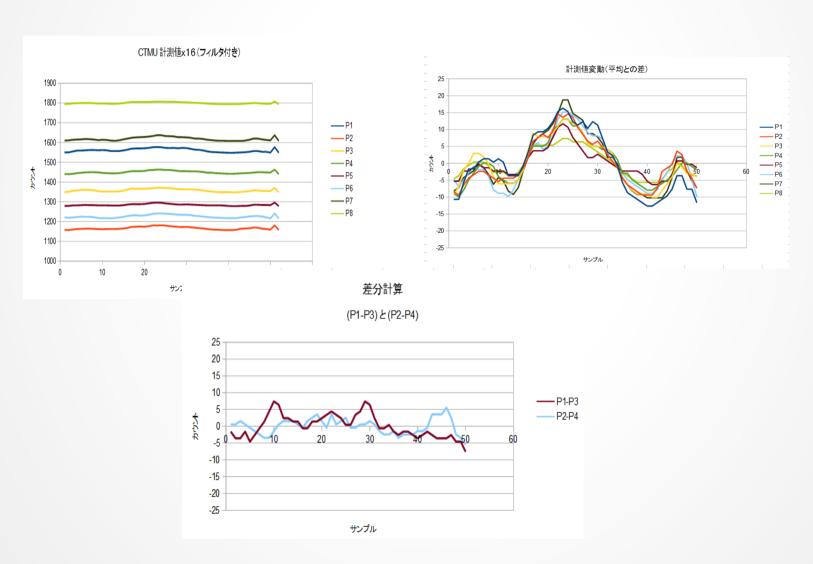
# CTMU計測データ



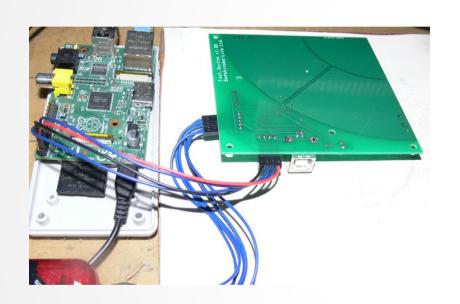
CTMU計測値の積算値(4個)

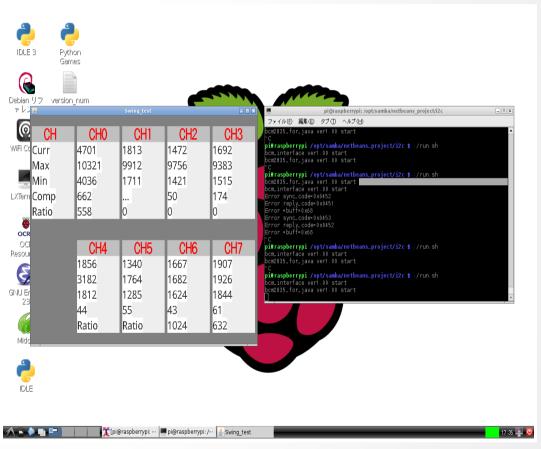
## フィルタリング処理

#### トラッキング・フィルタと指数平均処理を施した。



# 性能評価





### 課題

二次元位置情報の操作パネルとしては使えるがマウスとしての操作性には課題が残る。

フィルタリング処理 ==> 応答性劣化

電極と金属板 ==> リニアリティ不足

改善策

分解能の切替、位置モードと速度モードの切替 不感帯の設置、金属板サイズの見直し・・・